

謹賀新年



健康管理のためウォーキングを続けます
南方裕之

より多くのお客様に伝える事を
樂一みにしています。
栢原 貞枝

体調に気を付け楽しい一年にします。
藪 郁恵

気配りもしながら仕事を進めます
藤原 一仁

創業九十年、六十歳 服部雅章
結婚三十年 頑張ります

今年も風邪を引かない様に仕事を頑張ります。
北川陽輔

何事にも一生懸命取り組む一年にします。
宮崎 愛

今年も本厄なので気を付けて作業していきます。
熊代由宏

少しづつ確実に前進していきます。
鳥居知生

鳥居知生

鳥居知生

鳥居知生

アメリカ報告

12月10日から12月16日の日程でアメリカ広葉樹原木の仕入に出かけました。初めにアメリカ広葉樹の状況を簡潔に報告します。

- 1、中国人が膨大なチャイナマネーでアメリカ広葉樹の立ち木の権利を大量に買い付けている。
- 2、中国から、昨年比プラス50%アップの注文が来ている。
- 3、特にブラックウオールナット・ホワイトオーク原木価格が上昇している。

去年はウイスコンシン・オハイオ・ペンシルバニア・バージニアと出かけましたが、今回はペンシルバニアで良質のブラックチェリー材の原木の出材が思わしくない報告を受けていたので、ペンシルバニアを除く3カ所4ヤードを回り、3ヤードにて5コンテナを買い付けてきました。去年が8コンテナですので、今年は3コンテナ減らさざるを得ませんでした。

減らした理由を下記に書きます。

- * 為替は昨年、平均108円で決済しましたが今年は115円で決済をせざるを得ません。コストが7%分上昇します。
- * フレートが10%値上りしています。
- * 上記の1と2の影響で良質材の出材が少なかった。
- * 昨年より日本国内の無垢材を使うマーケットの状況が悪い。

12月11日AM9時にアポイントを取っていたウイスコンシンの土場に到着しました。一年ぶりに先方の社長とがっちり握手をして今年も宜しくお願いしますと挨拶をしました。

最初に検品を**ハードメープル**から始めました。色の白い疑芯の少ない原木を選木しました。次に**バースウッド**↓を選木しましたが、昨年より原木の太さが細い為に予定数量より減らしました。



3番目にレッドオーク原木↓を検品しました

た。そしてペンシルバニアに出向かない為に、この土場でブラックチェリー原木を当初30本程度買付けする計画を立てていましたが、品質的に良くなかったため、結果的に数量を僅か半分の15本にしました。

ブラックチェリー原木はなぜか中国から多くの注文は来ていませんでした。他の樹種と比較して不思議な現象でした。又この産地は元々ブラックチェリー材が多くないので此れで良いかなと判断しました。ウイスコン



シンはペンシルバニアと比較して色が少し浅いのが特徴です。

最後にブラックウォールナット原木の検品をしました。1コンテナ分ですが、昨年とほぼ同じ様な品質の原木→の手当てが出来たと思います。現場に特に良い原木が少量並んでいたのので、下の3本は↓高値でしたが超高値で



の板が取れると考え購入しました。その様な物件は、巾の広さより、良い色合いである事・無節である事・長さがある事等の条件の方が、必要だと思います。小生の思惑ですので外れる可能性は有りますが、清水から飛び降りる心境で買い付けました。

検品と契約のサインを済まし社長（左）と社長の右腕（右）とランチを社長の奢りで食べに行きました。とても美味しいアメリカ料理でした。

二日目にホワイトオークの特選原木の仕入の為に場所をオハイオ↓に移動しました。この産地のホワイトオーク原木はアメリカで一番良い品質ですので、訪問する前から単価が高い事は想像していましたが、想像以上の価格を提示されました。

現場に行くと約60,000MBFの良質原木が並んでいました。しかも小生が一番抜きだったので、少々高いとは思いましたが誰も抜いていないコンテナ1台分は値打があると思い（12月15日に開催された旭川の銘木市には此れだけの高品質のナラを含めたオーク材が出品されていないとの情報も有りました。）買付けをしました。



買い付けてきました。

現在の日本のウォールナットの市場では、品質の悪い節が入っている巾広の天板と呼ばれている材は溢れかえっていますが、長さ4メートル以上で無節の板目板と柃目板は殆ど流通していません。先々東京オリンピック関係の高級ホテル工事に使える品質



12月12日にオハイオで契約を結んで3時過ぎにバージニアに向け出発しウエストバージニアのミネラル・ウエルズで一泊しました。クリスマス前なのでホテルの正面玄関でクリスマスツリーが美しく飾られていたので記念写真を撮りました。

12月13日早朝バージニアに向けホテルを出発しました。オハイオからバージニアまでの総移動距離は750キロでした。13日PM2時にバージニアの新しいシッパーとアポイントを取っていたので途中昼食を軽めに取り現場に向かいました。実はこのシッパーは服部商店が製材品を取り引きしているシッパーです。このヤードを今年買収したそうです。ここでのやり取りは、色々な兼ね合いがあるので省略させていただきます。このシッパーの製材品は日本で流通しているイエローポプラの製材品の中でもトップ3に入る品質だと思います。



翌日12月14日AM9時に最後のバージニア州の土場で昨年初めて取引した社長←と握手をしてコンテナ1本(イエローポプラ3本・ブラックウオールナット1本・バースウッド1本・ホワイトオーク23本)を選木させて頂きました。特にこの社長は日本人以上の働き者です。現場を離れる時握手をしたかったのですがクレーンを操作していたので、手を振り来年の約束をしました。

このシッパー↓とオハイオのシッパー(前ページ)のホワイトオーク原木の価格差は40%も有りますが、極一部の御客様を除くと十二分にご使用頂ける



質で有ることを確認しているので安心して選木させて頂きました。というのは11日と12日の二日間で交渉した全樹種は、全て値上げを受け入れて来ましたが、この日は、価格は前年度と同じで良いと社長が仰っていたので安心しました。又来年の事も同時に考える必要があるので、ブラックウオールナット原木を1本サンプルで購入しました。4年前まではバージニアのブラックウオールナット原木を主体に扱っていましたが、商社と採めたのも同樹種だったので、ここは慎重に進める為に無理を御願ひして分けて頂きました。オハイオ・ウイスコンシンと比較すると少し色は濃い目ですが、価格差が20%以上有る為です。

今回で商社を外して4年目に入りますが、やっとアメリカの森林の極々僅かが解ってきた程度です。来月号でも、ネット等に掲載されていない本当の情報を皆様にお届けしたいと思います。